

POWER!

2020年
1月
vol. **66**

令和2年(2020年)
1月20日発行

発行所 ● 日本薬剤師連盟
〒160-0004
東京都新宿区四谷4-3
四谷トーセイビル2階
TEL (03) 3225-3100
FAX (03) 3225-3200

発行月 ● 隔月発行

<http://www.yakuren.jp>

令和2年度 診療報酬改定率決定!!

加藤厚生労働大臣と麻生財務大臣は12月17日(火)、令和2年度予算について折衝を行い、診療報酬本体、薬価・保険医療材料価格等の改定内容を確認した。医科1:歯科1.1:調剤0.3の配分比率が維持され公平な改定となった。

調剤報酬に対する厳しい指摘がなされる中で、日本薬剤師連盟の山本会長ほか役員による安倍総理らへの直接の陳情活動により、プラス改定、公平な改定を確保するとともに、前回及び前々回改定で行われた、通常改定とは別の適正化措置を阻止することができた。

- (1) 診療報酬 +0.55%
 - ① うち、②を除く改定分 +0.47%
 - 各科改定率 医科 +0.53%
 - 歯科 +0.59%
 - 調剤 +0.16%
 - ② うち、消費税財源を活用した救急病院における勤務医の働き方改革への特例的対応 +0.08%
- (2) 薬価・材料価格
 - 内訳) ① 薬価 ▲0.99%
 - ※うち、実勢価等改定 ▲0.43%
 - 市場拡大再算定の見直し等 ▲0.01%
 - ② 材料価格 ▲0.02%
 - ※うち、実勢価等改定 ▲0.01%

新年のご挨拶

日本薬剤師連盟会長 **山本 信夫**



新年あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、お健やかに輝かしい新年をお迎えになられたことお慶び申し上げます。

また、昨年の第25回参議院議員選挙におきましては、組織内統一候補の本田あきこ氏を擁立し、15万9596票を獲得して当選することができました。

さて、昨年12月に公布された改正医薬品医療機器等法では、調剤の場とされてきた薬局の役割を拡大し、一般用医薬品等も視野に入れた全ての医薬品の供給施設として再定義するとともに、薬剤師に対しては、医薬品の服用期間を通じた服薬状況の把握や指導を行い、必要に応じて医師等に情報提供するよう努め、薬物

療法の最適化に寄与することがその基本的機能であることとされ、機能的な薬局認定制度(地域連携薬局、専門医療機関連携薬局)が導入されることとなりました。

また、本年4月に予定されている診療報酬・調剤報酬改定にあたり、昨年末に診療報酬をプラス0.55%引き上げることと医科と調剤の改定比率が1:0.3に堅持された予算案が閣議決定となりました。このことは、本連盟の政治活動によって、昨年の参議院議員選挙の結果が反映され、本連盟の要望が政治的に叶えられた結果だと考えております。

日本薬剤師連盟は、令和となって初めての新年を迎え、日本薬剤師会の施策の実現に向けた連盟活動がこ



れまで以上に重要になってきていることを認識しつつ、これまで以上に本連盟の組織強化を図っていくと同時に、次の参議院議員選挙の組織内統一候補者を本年3月に開催する臨時評議員会までに選定することが急務となっております。さらに全力で取り組んでまいる所存です。

全国の薬剤師の皆様並びに都道府県薬剤師連盟のご支援とご協力により重要となっております。引き続きのご厚情を賜りますようお願い申し上げます。

本年が皆様にとって素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げます。新年のご挨拶いたします。



自民党・薬剤師問題議員懇談会が 開催される!

令和元年11月27日12時から、薬剤師問題議員懇談会世話人会(伊吹文明会長他10名)がザ・キャピトルホテル東急で開催された。

世話人会は、事務局長を務める藤井基之参議院議員の進行で始められた。伊吹文明会長の挨拶に続いて、都道府県薬剤師連盟から推薦された新規入会希望議員(衆・2名、参・4名)の入会及び令和元年5月27日から11月26日までの会計報告が諮られ、了承された。続いて、山本

年に向けて地域で求められる薬局・薬剤師の役割、持続可能性のある社会保障制度についての意見、薬局における予防・健康づくりへの取り組み、保険薬局の損益状況、改定率の推移であり、意見交換の後、総会において十分な説明を行うよう伊吹文明会会長が要望し、閉会となった。

日本薬剤師連盟会長より、7月の参議院議員選挙において組織内候補として立候補した本田顕子参議院議員に多大なるご支援を戴いたお礼を交えての挨拶がなされ、続いて森日本薬剤師会副会長から「日本薬剤師会における主な課題および要望」について、資料を用いて説明が行われた。内容は、2025年・2040

92名の議員、96名の代理人が駆けつけた。伊吹文明会長の挨拶、新規入会議員の報告及び会計報告がなされ、続いて、世話人会と同様に、日本薬剤師会より課題と要望が説明された。特に、診療報酬並びに調剤報酬改定が控えており、必要な財源確保と公平な改定と薬剤師の活用について十分な理解を求めるとともに、活発な意見交換の後、閉会となった。



ブロック協議会

第25回参議院議員選挙 都道府県総括

ブロック総務の総括

関東ブロック (茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・神奈川県・山梨県)

総務 武智 洋一郎

「国政の場で薬剤師の声を」と私達薬剤師への理解と共感を与えて頂いた候補者。2018年11月、高崎市の自宅庭で朝方東の空に「明けの明星」を見て、藤井もとゆき参議院議員に続く候補者が輝いていたの思い出。以降見られる限り毎朝見続けた金星は「きんぼし」と読み、関東ブロック/各県薬の使命を果たすことができた一因と思う。課題は多くあるが、会員間の意識の差を役員がどう認識して行動に移すかに尽きる。

次の選挙では「世界文化遺産」でもある私達日本人にとって愛する富士山に目をやり、些細なことに拘らず意識を高めていきたい。



2018年11月20日 朝5時半 東の空に明けの明星 (武智ブロック総務撮影)

北海道ブロック (北海道)

総務 竹内 伸仁

北海道でのブロック協議会開催は令和2年2月ですので、道薬連役員会にて検証を行っております。

検証では、前回に比べ670票あまり獲得票数は増えましたが、目標に及ばなかった理由を議論しており、評価として、役員が精力的に活動し、医薬品卸業者、チェーン薬局本部、製薬企業等への働きかけを通じ支援の了承を得られたことであります。

一方、課題は、連盟組織が脆弱な地域があったこと、従来からの電話作戦では、良い結果に結びつかなかったことでした。

脆弱な地域については、本部が積極的に関与し再構築の支援をする、電話作戦は、その在り方を見直すとともに、SNSにより一度で多くの方へ発信できる機能を有効活用する、業業関係以外の企業・団体にも、積極的な支援のお願いをすることを今後の方針としております。次回に向け、北海道が一丸となって取り組める体制の強化を構築したいと思っております。



東北ブロック (青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県)

総務 山田 卓郎

今回の参議院選挙では、東北全体の名簿達成率は39.32%と全国平均と比べるとかなり低いレベルであったが、得票数を見るとH28の藤井選挙より東北六県全体で約1,100票の増加となり、投票行動率も46.74%と全国平均を大きく上回り精度の高い名簿収集が出来たと思われる。また東北六県での全体会議もこれまでより頻りに開催し、各県から若手役員の参加も増え、ブロックとしてのネットワーク構築および意思統一が図れたことや、役員が率先してイメージカラーのオレンジを身に付けていたり、支部毎の支援者数と達成率の一覧表をこまめに更新作成してフィードバックすることで個々の会員が意識を高めることができた等、これまでの選挙運動に比べるとある程度の活動が実施できたと感じた。反省点としては、SNSは大変有効な活動手段ではあるが上手に利用できなかったことや、標旗リレーやピラの活用については早い時期からの計画が必要であると多くの県から意見があった。今後は若手(活動者・政治参加)への対応が最重点課題と思われる。



東京ブロック (東京都)

総務 石垣 栄一

今回の参議院議員選挙の新たな取り組みとして、5月12日、26日の2日間に23区内3ヶ所、多摩地区3ヶ所で「本田あきこ激励会」を開催したことが挙げられる。本激励会は各地区の役員が中核となり企画・運営を行い、延べ参加人数は1,265名であった。また、地元国会議員や区議・市議会議員の先生方にご臨席を頂くことにより、一気に選挙の士気が高まったことは評価できた点である。標旗リレーの活動は、4つの薬科大学においてピラ配りを実施したが、学生の理解を得ることが難しく想定外の結果であった。次回の選挙では学生に対して事前周知等の改善策が必要であるが、今後も薬学生へのアプローチは重要と考えている。支援者名簿の収集は、目標名簿数2万人に達することができたが、紹介者数は最後まで苦戦を強いられた。次回に向けて、収集時期や回収方法を再検討していく。また勝利の方程式と称し、東京ワンピース(10年間)東京なでしこ(5年間)東京ネクスト(2年間)の各種会合の実施は最重点として継続していく。



東海ブロック (岐阜県・静岡県・愛知県・三重県)

総務 石川 幸伸

東海ブロック内の本田氏に対する得票数は18,892票となり、平成28年の前回比で377票の減となった。県別で見ると、4県中2県で769票増加しているものの、2県で1,146票減少した。

今回は、前回の選挙で愛知県が県議会議員との共闘により大幅に得票数を伸ばしていることを参考に、各県とも県議会議員と連携して選挙活動に取り組んでおり、方策として有効であることが実感できた。

支援者名簿については、ブロック全体の支援者数は45,703人となり、前回比で3,512人の増となったが、投票行動率は依然として低調であったことに加え、今回の行動率は41.3%であり、前回の45.7%を下回っているなど、確実な支援者名簿の獲得方法に課題を残した。また、多くの会員に本田氏の名前が浸透しているとは言えず、街宣車、標旗リレー及び選挙葉書による効果など再考すべき課題が山積している。



北陸信越ブロック (新潟県・富山県・石川県・福井県・長野県)

総務 大塚 宰

「ほっとした。」これが正直な感想です。今夏の本田選挙は、2025年(ケアシステム)、2040年(現役世代の急減)等、今後の社会保障制度を見据え、絶対に負けることのできない戦いでした。

勝因は何といっても、本田あきこ氏が疲れ知らずの笑顔で全国を真剣に巡回したこと、そして、後援会・選挙活動を支えた会員皆様の想いが届いたからではないでしょうか。

当ブロックでは、各県後援会長はじめ、役員、会員皆様にご尽力いただきました。改めて感謝申し上げます。しかし「10・70・30」をスローガンに挑んだ今回の選挙は、ブロックとして目標数には届かず、個人名記載、会員一人当たりの得票率も伸びなかったことの責任を強く感じています。

次回選挙は、会員ひとり一人が自分の選挙であるという意識のもと、「チーム薬連」として活動することを願ってやみません。



大阪ブロック (大阪府)

総務 藤垣 哲彦

令和元年7月21日の参議院選挙において、本田あきこ氏が見事に比例第14位で当選しました。

残念ながら大阪における今回の得票数は、第21回の9,571票、第22回の8,099票、大阪の政治情勢が変わった第24回は5,514票と大きく票を落とし、今回の第25回は5,687票で173票の微増にとどまり目標数には届きませんでした。

大阪での今後の活動について纏め、薬剤師連盟推薦の組織内候補者が会員数(約8,000名)以上の得票数を獲得できるように、反省点を踏まえながら運営体制、連盟活動の強化に取り組んでいくこととしました。

そのためには、組織力を強化するための手順書(ステップ表)を有効に活用し、特に勤務薬剤師の動向が大きく影響を及ぼすことから、地道な時間をかけた連盟活動(後援会活動)を実施します。後援会支援者数を増加させることも重要であるが、いわゆる「紹介者」数を増やすことを第1の目標とします。



近畿ブロック (滋賀県・京都府・兵庫県・奈良県・和歌山県)

総務 竹上 茂

元号が「令和」になって初めての新年を迎えました。昨年は、日本薬剤師連盟史上初の組織内議員が2名になり、新たな時代への幕開けとなりました。

昨夏の参院選において、近畿地区は人口規模に比例した会員数の規模的な差はありますが、名簿収集・電話作戦など今までの選挙活動を踏襲した部分やSNS等の選挙活動のような新たな試みを取り入れた部分、各府県会員数、世代交代、会員内勤務者比率が変わり行く中で、府県薬連役員は、ブロック協議会をはじめ、各支部・薬局訪問などできる限りの活動をしました。

すでに始まっている次期参院選に向けて、いずれの府県薬も一部の役員だけでなく、いかに裾野を広げるかが最重要課題だとの認識の下、近畿地区はじめ、全国の薬剤師の方々のこれからの益々のご活躍をご祈念申し上げます。



中国ブロック (鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県)

総務 中原 靖明

今回の参議院選挙活動において、各県の活動状況を把握し、共有、報告することがブロック総務としての大きな役割でした。新しく作成されたステップ表は各県の進捗状況把握には大変有用でしたが、結果としてブロック全体での集票力強化には繋がりませんでした。ブロック総務としての責任が果たせざ反省しています。

名簿収集活動、薬局訪問はこれまで以上に行った県が多い中での投票結果は残念ですが、無事、当選を果たす事が出来ました。今回、各県の班活動を活発にすることによって新たに気付いた点も多くあり、今後の薬剤師連盟活動に役立てなければいけません。常日頃からの活動が最終的に集票に結びつくのだと改めて強く感じました。

県、地域薬剤師会とそれぞれの連盟の連携が最も重要です。常に情報を集め発信力を強化することが今後の課題と捉え、顔を合わせ、話し合う関係性の構築を目指したいと思っております。



四国ブロック (徳島県・香川県・愛媛県・高知県)

総務 宮佐 俊昭

四国4県の支援者名簿獲得率は、平均82.87%と全国平均の60.18%をかなり上回ったことから、四国ブロックにおける選挙支援活動が非常に活発に実施されたものと評価できる。

また、四国ブロックの合計得票数は、前回選挙に比べ554票上回り、特に1薬局あたりの得票数については、徳島県3.74(全国8位)、香川県3.53(全国11位)、愛媛県3.48(全国13位)、高知県3.21(全国16位)と4県とも上位であり、全国平均の2.70を大きく上回ったことは、評価できる。

一方、獲得支援者名簿数に対する得票数の比率である投票行動率に関して、4県の平均が22.24%と、全国平均の38.19%に比べて低かったことが反省点である。

更に、四国ブロックでのSNSを活用した選挙活動については、限定的な活用にとどまっており、次回選挙に向けて効果的な活用方法を検討していく必要がある。



九州ブロック (福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県)

総務 原口 亨

組織内統一候補の決定後、九州各県における活動に加え九州全県協働による活動を速やかに、かつ積極的に実施した。九州本田あきこ後援会や顕彰会によるそれぞれの語る会への動員や名簿収集等の継続的な実施を認知度向上を意識し実行した。特にJPLによる活動は、新たな想起を促すこととなった。多くの県薬連盟が前回値を超える結果を残したが、当初目標としていた数値は残念ながら達成することができなかった。

個別の活動については、各地域薬剤師連盟の役員の直接的活動が有効であった反面、地域的要因もあるが役員の活動量の差が結果に影響したと考えている。また、組織内統一候補本人によるface to faceによる活動は非常に有効であったが、会員の会合等への参加増については連盟組織についての啓発も含め、今後の課題として検討する必要がある。会員そして各県薬連盟の役員の皆様の多大なるご協力に感謝いたします。



休により予定を変更して、11日(金)に入り若しくは13日(日)朝から大変な状況の中、移動して頂いた「熱い志」に深く感謝致します。参加人数9669名、一部変更はありましたが全てのプログラムを開催できましたこと、心より御礼申し上げます。懇親会にも多数御参加頂き誠にありがとうございました。河豚、獺祭、花魁は堪能頂けましたか?

第53回は北海道でテーマは「その先へ」。オリンピックの影響で連休開催ではなくになりましたが、「熱い志」持って北海道の大地で皆様共に学びましょう。楽しみにしています。

この時、地元の山口県下関市で10月13日(日)、14日(月)祝にテーマを「原点」として第52回日本薬剤師会学術大会が、前日の10月12日(土)には山口県薬剤師会創立130周年記念大会が開催されました。台風の影響で空と陸の交通機関の運

風力計

「原点からその先へ」

謹んで新春のお慶びを申し上げます。みなさまお健やかに新春をお迎えのことと存じます。本年もどうぞよろしくお願ひ申し上げます。

昨年は、台風が多発し各地に多くの被害をもたらしました。その1つ、台風19号が10月12日午後7時頃に「大型で強い」勢力のまま伊豆半島に上陸し関東地方を縦断、13日正午に日本の東で温帯低気圧になりました。大量の水蒸気を含んだ状態で上陸したため、東海から東北を中心に広い範囲で記録的な大雨や暴風、高潮となり、複数の河川氾濫など列島に大きな爪痕が残りました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

この時、地元の山口県下関市で10月13日(日)、14日(月)祝にテーマを「原点」として第52回日本薬剤師会学術大会が、前日の10月12日(土)には山口県薬剤師会創立130周年記念大会が開催されました。台風の影響で空と陸の交通機関の運

号が10月12日午後7時頃に「大型で強い」勢力のまま伊豆半島に上陸し関東地方を縦断、13日正午に日本の東で温帯低気圧になりました。大量の水蒸気を含んだ状態で上陸したため、東海から東北を中心に広い範囲で記録的な大雨や暴風、高潮となり、複数の河川氾濫など列島に大きな爪痕が残りました。被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

この時、地元の山口県下関市で10月13日(日)、14日(月)祝にテーマを「原点」として第52回日本薬剤師会学術大会が、前日の10月12日(土)には山口県薬剤師会創立130周年記念大会が開催されました。台風の影響で空と陸の交通機関の運

日本薬剤師会
常務理事 吉田 力久
(山口県薬剤師会 副会長)

令和元年度 第3回全国会長・幹事長拡大会議が開催される

令和元年11月6日、東京会館において今年度3回目の全国会長・幹事長拡大会議が開催された。

開会

浜田常任総務が司会を務め、先ずは山本会長より開会の言葉が述べられた。続いて来賓として、藤井もとゆき参議院議員と、この夏の選挙で初当選を果たした本田あきこ参議院議員より国政報告を兼ねた挨拶をいただいた。次に司会者より座長の指名があり、今回は沖縄県薬剤師連盟の亀谷会長が指名され以降の進行を行った。

報告

最初に報告として尾島副会長より、平成31年4月1日〜令和元年10月22日までの会務報告があり、続いて石井副会長より、令和元年度ブロック協議会の進捗状況と、中医協における検討状況や全世代型社会保障改革など直近の政治課題について説明があった。次に安東副会長より9月15日、16日に開催された「次代を担う薬剤師フォーラム」の報告、荻野副会長より都道府県薬剤師連盟主催の「若手薬剤師フォーラム」の開催状況の報告がなされた。また、岩本幹事長からは、第25回参議院議員通常選挙総括報告書(案)の概要説明、第4次安倍第2次改造内閣、自民党役員人事、自民党薬剤師問題議員懇談会のメンバーの総会出席状況の説明があった。その後、質疑が行われてから休憩をはさみ協議となった。

協議

ここでは岩本幹事長より、次期参議院議員選挙の件で、組織内議員である藤井

もとゆき参議院議員が出馬を辞退されたことを受け、都道府県薬剤師連盟に対し組織内候補の推薦を依頼したこと、そして10月末日で受付を締め切り、3名が推薦され、その選挙に入ることが説明された後、協議となった(注)。続いて安東副会長より、若手薬剤師フォーラムなどでテキストとして使用されている「薬剤師 昨日、今日、そして明日」を来年度に改定することが説明され、改定に当たって参考とするため、実際に資料として活用している都道府県薬剤師連盟に対してアンケートをすることが提案され、回答を求めることとなった。意見交換の後、安東副会長の挨拶で閉会となった。

(注)推薦された3名から適任者を決定できなかったため、12月2日、改めて候補者の推薦依頼を行っている。

「藤井もとゆき君と語る会」が華やかに開催!



全国会長・幹事長拡大会議に続き、18時半より「藤井もとゆき君と語る会」が同会館で開かれた。18時の開場に合わせ藤井もとゆき参議院議員、山本会長、岩本幹事長が会場入口で立礼し、薬剤師会だけでなく藤井もとゆき参議院議員を応援する

多くの団体、支援者を出迎えた。定刻となり、本田あきこ参議院議員の爽やかな司会で開会が告げられ、発起人を代表して山本会長より支援のお礼を兼ねた挨拶が述べられた。続いて松本純衆議院議員、日本製薬団体連合会宮島理事長、日本薬業政治連盟牛之濱理事が祝辞を述べ、健康保険政治連盟大塚会長からのメッセージが披露された。また、公務ご多用の中、岸田文雄自民党政調会長が駆けつけて藤井もとゆき参議院議員の活躍を称えた。次に安倍晋三自民党総裁からの祝電が読み上げられたのちに、本日の主役である藤井もとゆき参議院議員よりお礼の挨拶が述べられた。そして、とかしきなおみ衆議院議員の発声で乾杯が行われ、懇親会が始まった。藤井もとゆき参議院議員は各テーブルを回り支援者と懇親を深めていたが、瞬く間にその時間は過ぎ、岩本幹事長の挨拶で中締めとなった。



新年のご挨拶

日本病院薬剤師連盟会長 木平 健治



新年あけましておめでとうございませう。皆様におかれましては、輝かしく健康な新年をお迎えのことと、お慶び申し上げます。

昨年の明るい話題といえば、新天皇の即位と「ビューティフル・ハーモニー」すなわち「美しく調和のとれた新しい時代」という意味をもつ令和への改元、リチウムイオン電池の開発による吉野彰博士のノーベル化学賞受賞、ラグビーワールドカップ2019における日本チームの大活躍などでしょうか。しかし、薬剤師にとって最も明るい話題は、昨年の参議院議員通常選挙で我々の応援した本田あきこ氏が見事当選されたことではないでしょうか。

医療環境が大きく変わる中で、病院・薬局ともに日頃から薬の専門職として薬物療法の有効性と安全性の確保に尽力し、薬剤師は本来の使命を果たすため努力をしていますが、薬剤師の存在意義を国民の皆様が理解して頂くことも重要なことです。そのためには、法的な裏付けはもとより、経済的には診療報酬という形で評価が必要で、そのためには政治の力が極めて重要で不可欠です。

日本病院薬剤師連盟は、党派を超えて薬剤師議員を応援しています。今年度は次の参議院議員通常選挙に向け日本薬剤師連盟と「One Team」で、本田あきこ氏と共に薬剤師のために活躍して頂ける薬剤師議員を国政の場に送るべく準備を始めたかと考えているところです。本年が、皆様にとって明るい一年となることを祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

日本女性薬剤師連盟会長 近藤 由利子



令和の春のお慶びを申し上げます。皆様には輝かしい新年をお迎えの事と存じます。日頃より日本女性薬剤師会へのご支援とご指導を賜り、心より御礼申し上げます。

本年は医薬品医療機器等法の改正に伴い、医療提供施設としての薬局と薬剤師の職能の向上が一層期待されています。つまり、薬剤師法第一条に基づき「調剤、医薬品の提供などにより公衆衛生の向上への寄与」国民の健康な生活を確保」の具体的な行動が法の中で示されました。換言すると薬剤師には、医療安全を基盤とした地域住民の健康への貢献が更に求められていると考えられます。

皆様のご支援のお蔭で、昨年は本田あきこ氏を参議院に送ることができました。本田氏とは薬剤師法第一条に関して頻りに話し合い、女性の健康課題に対応する本会の意義・役割についてもご理解を頂きました。本田氏の政治家としての今後の活躍が期待されます。残念ながら数多くいる国会議員の中で、薬剤師は十指に満たぬ人数です。薬剤師の目線で健康と医療を見据えるために、多くの薬剤師を国政に送りたいたいです。

今年も皆様からのご支援の下、活動理念に従い、新時代・令和の女性薬剤師会の活動を行って参ります。よろしくご指導のほどをお願い申し上げます。

会長及び監事選挙並びに候補者届出の受付に関する公示

日本薬剤師連盟会長 山本 信夫

本連盟の令和元年度定時評議員会を令和2年3月25日(水)に開催いたします。当日は、本連盟の「会則」「会長及び監事選挙規則」及び「同規則施行細則」により、令和2年4月1日から令和4年3月31日までを任期とする次期会長1人、監事3人の選挙を行います。自ら候補者になろうとする会員、候補者を推薦しようとする会員は、下記により届け出下さい。

記

- (1) 候補者の資格は令和2年1月25日までに都道府県薬剤師連盟に入会手続きを完了している会員に限ります。
 - (2) 届出の受付期間は、令和2年2月24日(月)から3月10日(火)までの午前9時から午後5時までとし、本連盟事務所受付となります。但し土曜日、日曜日と祝日を除きます。
 - (3) 届出の締切日時は令和2年3月10日(火)午後5時です。締切日時後の届出は受付られません。郵送による場合は、必ず書留をご利用下さい。締切日時までに到着したものを有効とします。
 - (4) 立候補届出書(又は候補者推薦届出書と承諾書)をはじめ、必ず添付しなければならない書類の様式は全て規定されておりあります。届出関係書類一式あるいは本連盟規約等諸規定は、ご請求下さい。郵送いたします。
- お問合せは本連盟事務局
03-3225-3100
>お願ひします。

衆議院議員
松本純

自民党国会対策委員会委員長代理・
薬剤師



新年明けましておめでとうございます。また、旧年中は大変お世話になりました。誠にありがとうございます。3期連続の自民党国会対策委員会委員長代理として、丁寧な審議を通じ、円滑な議事運営のため、力を尽くしています。

薬機法を、昨年の臨時国会で可

決成立させることができました。その内容は、薬剤師が調剤時に限らず必要に応じて患者の薬剤の使用状況の把握や服薬指導を行う義務、また、薬局薬剤師が、患者の薬剤の使用に関する情報を他医療提供施設の医師等に提供する努力義務が規定され、更には、患者自身が自分に適した薬局を選択できるよう、地域連携薬局、専門医療機関連携薬局という機能別の薬局の知事認定制度を導入する等、飽く迄も患者の立場に立った薬剤師、薬局のあり方の見直しであり、地域における医療や介護、生活支援

等の中で安全確保と医療の質の向上を図るために、患者から選ばれた「かかりつけ薬剤師」として、その責務を果たしていくことが大切であり、国民・患者の健康維持・増進という本来の職能の発揮、目的達成のため共に頑張りましょう。薬剤師の役割があらためて大きく取り上げられています。薬価制の見直しをはじめ、診療報酬調剤報酬を含めた薬局の役割についての課題、ICT技術を利用した遠隔服薬指導や電子処方箋などの患者の利便性から見た問題など、課題は山積しています。

このような環境の中で、薬剤師は期待されている社会的使命を全うし、国民・患者と共に身近な立場で、健康の維持・増進を図り、安全・安心を提供できる「かかりつけ薬剤師」としてその職能を発揮して頂かなければなりません。政治の安定が経済を引き上げます。その経済成長の力をもって、社会保障制度が堅持されます。国家の発展、国民の幸せを求め、本年も全力で頑張らせて参ります。

参議院議員

藤井基之

自民党政務調査会会長代理・薬剤師・
薬学博士



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には輝かしい新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年夏の選挙では、本田あきこさんが見事当選されました。参議院に薬剤師議員の仲間をお迎えできたことは、なによりも心強く嬉

しく思っています。さて、昨年10月に消費税率が引き上げられ、薬価は消費税対応分を上乗せし、0.51%の引き下げとなりました。また、消費税が非課税とされている医療費は、診療報酬・調剤報酬の引上げにより補填がなされました。さらに、本年4月には診療報酬等の改定が行われます。国民が必要な医療を安心して受けられるよう、その財源をしっかりと確保していかなければなりません。

相応しい全世代型社会保障制度の検討を進めています。また、薬機法等改正法案が成立し、住み慣れた地域で患者が安心して医薬品を使用できるよう、薬剤師による継続的な服薬指導が義務化され、国民のニーズに応える優れた医薬品等を迅速かつ効率的に提供するため、「先駆け審査指定制度」「条件付き早期承認制度」が法制化されます。本格的な高齢化社会を迎え、地域医療を支える薬剤師・薬局の役割は一層高まるものと思えます。

衆議院議員

逢坂誠二

立憲民主党政務調査会会長 薬剤師



明けましておめでとうございます。山本信夫会長をはじめ、日本薬剤師連盟会員の皆様には、お健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様におかれましては、日頃より、逢坂誠二の議員活動に対し、特段のご支援とご協力を賜り、改めてお礼申し上げます。逢坂誠二は、現在、立憲民主党におきまして政務調査会会長を拝命しており、党の政策の責任者を務めています。さて、薬剤師の皆さまが成立を

望んでおりました改正医薬品医療機器等法案(改正薬機法)が、先の臨時国会において可決されました。今改正薬機法では、地域医療機関や診療所との連携が重視されるなかで、薬局の特定機能の一つとして「地域連携薬局」が位置づけられました。また、地域連携薬局を地域のなかで可視化すること、ポリファーマシーを解消し、医薬品の適正使用に資する薬局・薬剤師像が重視されることになり、かかりつけ薬剤師・薬局の活躍が今後ますます期待されることとなります。

私、逢坂誠二も薬剤師の一人として、また国会議員として、日本薬剤師連盟会員の皆さまのために、全力を尽くして参ります。今年もよろしくお願いいたします。

新年挨拶



衆議院議員
とかしきなおみ

自民党環境部会長・薬剤師



新年明けましておめでとうございます。山本会長をはじめ日薬連盟の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになりましたこと心よりお慶び申し上げます。

「薬局・薬剤師が今後果たすべき役割は、『対人』しかない」と私は考えています。2015年の「患者の為に薬局ビジョン」、2016年・2018年の診療報酬改定、昨年成立した「薬機法の改正」、これら全てで明確にメッセージとして出ているのは「対人業務」の充実で、今こそ薬剤師の「対人」に対する意識改革や行動変容が必要であると、訴えています。私も将来この流れが来ることを予想し、

2009年の落選中大阪で薬剤師として現場で働きながら、薬剤師の挑戦の場として「北大阪健康医療都市(健都)」を造る政策を練り、昨年やっとオープンさせることができました。「健都」では、従来市民一人一人が勝手に持っている健康管理を、薬剤師の指導の下に健康管理する体制づくりに挑戦します。医療の専門家が介在した健康管理の方が、効果も出るし、体は楽だし、お財布にも優しいと証明

することで、地域医療の「対人業務」を充実していきたいと考えたのです。薬剤師の役割に、「薬を飲む期間だけでなく、予防の段階から、患者の人生に寄り添うきめ細やかな業務」を加えるべきと考えたのです。いま薬剤師は「挑戦の時」を迎えています。薬剤師の国会議員として、薬剤師の方々が挑戦できるように今年も頑張らせて参ります。

参議院議員

本田 顕子

自民党女性局長 厚生関係団体
委員会副委員長 薬剤師



新年あけましておめでとうございます。会員の皆様には、お健やかに輝かしい新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

は、薬機法等改正法案が審議され、昨年11月21日の厚生労働委員会において、藤井議員に続いて、私にとって初めての質問に立つことができました。地域連携薬局等への財政支援、敷地内薬局や遠隔服薬指導の問題点などについて質問させていただきました。加藤厚生労働大臣、担当局長からご答弁をいただきました。そして、26日の厚生労働委員会でも可決され、27日の本会議でも可決・成立しました。

また、自民党 薬剤師問題議員懇談会への入会が承認され、11月27日の総会には議員として参加し、日本薬剤師会から次期調剤報酬改定への要望をお聞きしました。最後に、日本薬剤師連盟の皆様にとり、本年が素晴らしい一年になりますことを祈念申し上げます。新年の挨拶いたします。

編集後記

オリンピックイヤー

いよいよ東京オリンピック・パラリンピックの年が始まった。前回の1964年東京オリンピックは中学生であったので、人生において2度わが国での五輪を見られることになる。東洋の魔女の決勝戦は、一家全員がテレビにくぎ付けとなった。はだしのアベハは、東京ではシューズを履いて甲州街道を疾走し、2位で国立競技場に入ってきた円谷は、トラック内でヒートリーに抜かれたが、陸上競技唯一のメダルを獲得した。テレビ中継でのアナウンサーの叫ぶような声が蘇るようだ。

今年の五輪では、どのような感動をもたらさるだろう。昨年のラグビーワールドカップの開催は、ラグビーのルールを知らない者にも、感動を与えてくれた。昨年の流行語大賞は「ONE TEAM」と決まった。スポーツの魅力は、全力を出して戦う選手の姿であり、その姿に感動するのではないだろうか。

さて、東京五輪の選手村に診療所が設置され、選手やコーチのケガや病気に対応することになっている。その診療所において、ポランテアとして調剤や服薬指導を行っていた薬剤師が募集されることになり、日本薬剤師会が仲介役を果たしている。薬剤師の要件として、英語で会話ができることなどのほか、アンチ・ドーピングに関する知識があることが含まれている。是非、多くの薬剤師が五輪を支える役割を担って欲しいものだ。

広報委員

- 安東 哲也、石井 甲一
- 小野 春夫、鳥海 良寛
- 大澤 泰輔、大原 整
- 近藤直緒美、渡邊美知子

(K1)